



## 2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 ユーソナー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 431A URL <https://usonar.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長竹 克仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理グループ (氏名) 小林 寿之 TEL 03 (5388) 5300  
 常務執行役員CFO  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第3四半期の業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	5,395	—	1,180	—	1,175	—	684	—
2024年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	87.60	—
2024年12月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2024年12月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第3四半期の数値及び2025年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2025年7月10日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該の株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2025年12月期第3四半期	6,417	—	3,343	—	52.1
2024年12月期	4,941	—	2,658	—	53.8

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 3,343百万円 2024年12月期 2,658百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,880	13.3	1,261	38.5	1,254	38.0	768	21.3	98.22

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2025年7月10日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期3Q	8,687,000株	2024年12月期	8,687,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	869,000株	2024年12月期	869,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期3Q	7,818,000株	2024年12月期3Q	—株

(注) 1. 当社は、2024年12月期3Qについては、四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期3Qの「期中平均株式数（四半期累計）」を記載しておりません。

2. 当社は、2025年7月10日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(会計上の見積りの変更に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(重要な後発事象に関する注記) .....	6
(追加情報) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やそれに伴う個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調を示しております。一方で、地政学的リスクの高まりや海外経済の減速懸念、物価上昇による個人消費への影響などから、経済の先行きには依然として不透明感が残る状況が続いております。

当社の属するインターネット附随サービス業の市場においては、2025年7月の月間売上高は前年同月比13.0%増となっており、プラス成長を継続しております（出所：2025年9月24日公表の総務省統計局の「サービス産業動態統計調査（2025年7月分速報）」）。当面の間、企業や自治体のDX推進や、情報セキュリティ等への取り組みは重要性が高く、IT投資への意欲は継続し、市場は拡大するものと予測しております。

このような状況の中、当社は独自構築した法人企業データベース「LBC」の活用により、企業のデータベースマーケティングを支援しました。製品・サービス力の拡充により、既存顧客との関係維持、満足度の向上を図るとともに、新規顧客の開拓による顧客基盤の拡大を推進しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,395,534千円、営業利益は1,180,487千円、経常利益は1,175,804千円、四半期純利益は684,884千円となりました。

なお、当社はデータベースマーケティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は4,499,151千円となり、前事業年度末に比べ628,187千円増加いたしました。これは主に、当社の主力商品である「ソナーサービス」等の受注が順調に推移したことで現金及び預金が400,894千円、売掛金が148,812千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は1,918,235千円となり、前事業年度末に比べ847,333千円増加いたしました。これは主に、本社移転に伴い移転先の本社オフィスの賃貸借契約にあたり敷金を差し入れたこと等により敷金及び保証金が505,189千円、特約付定期預金の預入により長期預金が400,000千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、6,417,386千円となり、前事業年度末に比べ1,475,520千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は2,690,556千円となり、前事業年度末に比べ701,047千円増加いたしました。これは主に、当社の主力商品である「ソナーサービス」等の年間使用料等の受注が順調に推移したことにより前受収益が576,212千円増加し、未払法人税等が116,477千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は383,405千円となり、前事業年度末に比べ89,588千円増加いたしました。これは主に、新規に長期の借入契約を行っておらず、約定返済により長期借入金が61,701千円減少いたしました。金融機関が引受けとなる私募債の発行を行ったことにより社債が70,000千円、本社移転の決定に伴い、本社移転に伴い発生が見込まれる費用に備えるため計上した本社移転損失引当金が79,101千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,073,961千円となり、前事業年度末に比べ790,636千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,343,424千円となり、前事業年度末に比べ684,884千円増加いたしました。これは利益剰余金が684,884千円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績の進捗率は、売上高が78.4%、各段階利益が90%前後と高い水準で推移しております。第4四半期会計期間においては新規上場費用、各種イベントの開催、決算賞与等、当初計画に織り込み済みの諸費用に加え、競争環境の激化等の不確定要素が見込まれます。そのため、現時点では2025年10月17日に公表しました通期の業績予想からの修正は行っておりません。今後、業績動向等を慎重に見極めた上で、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,222,573	3,623,468
売掛金	378,968	527,781
仕掛品	11,668	12,223
貯蔵品	6,325	7,719
前払費用	235,514	317,968
その他	15,912	9,989
流動資産合計	3,870,963	4,499,151
固定資産		
有形固定資産		
建物	418,036	418,036
車両運搬具	9,583	9,583
工具、器具及び備品	291,520	292,512
減価償却累計額	△324,978	△439,481
有形固定資産合計	394,162	280,651
無形固定資産		
ソフトウェア	324,111	306,118
ソフトウェア仮勘定	7,705	25,991
無形固定資産合計	331,817	332,110
投資その他の資産		
長期前払費用	1,958	2,459
長期預金	—	400,000
敷金及び保証金	153,915	659,105
繰延税金資産	72,048	134,708
その他	117,000	109,200
投資その他の資産合計	344,923	1,305,474
固定資産合計	1,070,902	1,918,235
資産合計	4,941,866	6,417,386

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	230,210	224,207
短期借入金	145,000	145,000
1年内償還予定の社債	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	99,973	80,032
未払金	101,101	157,118
未払費用	181,259	157,195
未払法人税等	210,100	326,577
前受収益	883,634	1,459,847
その他	138,228	120,578
流動負債合計	1,989,508	2,690,556
固定負債		
社債	—	70,000
長期借入金	61,701	—
本社移転損失引当金	—	79,101
資産除去債務	232,116	234,303
固定負債合計	293,817	383,405
負債合計	2,283,325	3,073,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	786,377	786,377
利益剰余金	2,022,234	2,707,119
自己株式	△250,072	△250,072
株主資本合計	2,658,540	3,343,424
純資産合計	2,658,540	3,343,424
負債純資産合計	4,941,866	6,417,386

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,395,534
売上原価	1,977,938
売上総利益	3,417,596
販売費及び一般管理費	2,237,108
営業利益	1,180,487
営業外収益	
受取利息	4,882
為替差益	480
その他	1,510
営業外収益合計	6,874
営業外費用	
支払利息	2,329
社債発行費	1,109
固定資産除却損	0
上場関連費用	7,887
その他	231
営業外費用合計	11,557
経常利益	1,175,804
特別損失	
本社移転費用	121,207
特別損失合計	121,207
税引前四半期純利益	1,054,597
法人税、住民税及び事業税	432,372
法人税等調整額	△62,660
法人税等合計	369,712
四半期純利益	684,884

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項  
 (会計上の見積りの変更に関する注記)  
 (本社移転に伴う見積りの変更)

当第3四半期累計期間において本社移転に関する決定を行ったことに伴い、利用が不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。また、原状回復に係る資産除去債務についても、履行時期を見直し、移転日までの期間で資産除去債務の費用計上完了するようにその見積りを変更しております。

この変更により、従来の方と比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ47,706千円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、データベースマーケティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	240,900千円

(重要な後発事象に関する注記)

(公募による自己株式の処分)

当社は、2025年10月17日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2025年9月11日及び2025年9月30日開催の臨時取締役会において、自己株式の処分を下記のとおり決議いたしました。なお、公募による自己株式の処分については2025年10月16日に払込を完了しております。

(1) 募集方法	一般募集(ブックビルディング方式による募集)
(2) 処分する株式の種類及び数	普通株式 50,000株
(3) 処分価格	1株につき 2,000円
(4) 引受価額	1株につき 1,840円
(5) 処分価格の総額	100,000千円
(6) 引受価額の総額	92,000千円
(7) 払込期日	2025年10月16日(木)
(8) 資金の使途	①人材確保のための人件費、②広告宣伝費及び③システム開発費に充当していく予定であります。



(追加情報)

(第三者割当による自己株式の処分)

当社は、2025年10月17日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2025年9月11日及び2025年9月30日開催の臨時取締役会において、野村証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分を下記のとおり決議いたしました。

(1) 募集方法	第三者割当（オーバーアロットメントによる売出し）	
(2) 処分する株式の種類及び数	普通株式	347,200株
(3) 割当価格	1株につき	1,840円
(4) 割当価格の総額		638,848千円
(5) 払込期日	2025年11月18日（火）	
(6) 割当先	野村証券株式会社	
(7) 資金の使途	「重要な後発事象に関する注記 公募による自己株式の処分（8）資金の使途」と同一であります。	